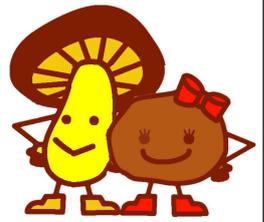


# 川谷小学校だより

1月後半 第20号 令和3年1月28日発行  
文責：校長 佐藤 仁一 作成：教頭 小谷津 卓



## 電気のひみつ大発見!!

過日、東北電力の方を講師にお迎えして「エネルギー出前講座」を開催し、3・4年生が電気についての学習に取り組みました。

身近にある電気ですが、授業では、東北電力の方々から、電気が生活に欠かせないものであることや生活の中では電気がたくさん使われていることについての話を聞きました。そして、電気の特徴として、「①電気は目に見えない ②電気は光と同じくらいの速さで進む ③電気は大量に貯められない」ことを学びました。

また、発電模型を使用して「火力発電の仕組み」についても学ぶことができました。火力発電機(鍋)からの蒸気がタービン(羽根車)を回し、発電する様子を子どもたちは身を乗り出しながら食い入るように見つめ観察する姿が見られました。

子どもたちはしっかりと話を聞き、メモを取ったり質問をしたりする姿が見られ、関心の高さを感じました。



手回し発電機による電球点灯実験では、電気を発電させて電球を点灯させるために、ハンドルをたくさん回して発電することの大変さやLED電球に換えると少ない電力で電球が点灯することを実感をもって学ぶことができました。

まとめとして「電気=資源」であることを確認し、私たちは電気を大切に使用しなければいけないことに気付くことができました。

## 川谷小の農育をまとめました

本校では、今年度も福島県が推進する「ふくしまの農育」推進事業に取り組み、農作業の体験学習「畑の学校」を通して、農業の大変さを体験しながら「食・命」や「自然環境」の大切さを学びました。

そして今回、同事業の「かべ新聞コンクール」に、学校を代表して3年生の緑川明里さんが取り組みました。今年度の川谷小学校の農育の取り組みを振り返りながら、川谷小・中学校の農業への取り組みを紹介したり、社会科の学習に、鈴木潔さんへ農業についてのインタビューをしたことや総合的な学習の時間の学習に、須藤政美さんから伺った「川谷の自然環境について」などをまとめたり、模造紙いっぱい「川谷の農育」が書き綴られた素晴らしい作品となったものを出品してくれました。

